

様式第10－1号
日本語教育課程の概要

教育課程の名称	留学のための課程					
設置目的・経緯	本校は興学社学園グループ全体の基本理念である「全ては生徒の為に」のもと、留学生が自らの人生を切り拓くための”応援団”となる教育機関を目指し2002年10月に設立された。主に専門学校進学希望の留学生を受け入れ、日本の高等教育機関で日本語による専門的な学習に取り組める日本語能力を身に付けさせる。また、日本語教育のみならず、日本社会に適応できるマナーやルールを心得た留学生を育てる。					
主たる対象	専門学校へ進学を目指す非漢字圏の外国人留学生（A1レベル相当）					
教育課程の到達目標	日本の高等教育機関で主体的に学べるだけの高い日本語能力がある。一般的な話題から自分の専門分野についての複雑なテキストまでを理解でき、議論にも参加できる。					
日本語能力の到達目標	B 2					
言語活動ごとの到達目標	聞く	読む	話す（やり取り）	話す（発表）	書く	
	B 2	B 2	B 2	B 2	B 2	
学習を自ら管理する能力	自己評価、ポートフォリオによって、主体的に学習をする自律性を身に付ける。 また、自身の到達度を多角度から確認し、把握する。					
修業期間	2年					
総学習時間	1536	※認定日本語教育機関認定基準第20条第2項（日本語教育課程以外の科目の履修）に該当		—	左記に該当する場合、総学習時間のうち、日本語教育課程以外の科目の学習時間	
総授業週数	80週					
1日あたりの授業時間	4単位時間/日 1単位時間＝45分					
1週あたりの授業時間数	20単位時間/週（1週＝5日）					
成績・修了要件	全科目が「A, B, C, F」の4段階評価の中でC以上、かつ在学中の総出席率が85％以上であること。 ただし、Fは補講を課し、合格となる場合がある。					

日本語教育課程のレベル設定の概要

参照枠	レベル設定	到達目標 (Can do)	1 週あたりの 授業時間数	期間 (月数・週数)	合計授業時間数
A 1	A1	ごく基本的な、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。自分や他人の紹介ができ、住所、誰と知り合いか、持ち物などについて、質問をしたり、答えたりできる。162の漢字の読み書きができる。	20時間	3か月 (10週)	192時間
A 2	A2	基本的な個人情報や家族情報、買い物、近所、仕事などに関する、よく使われる文や表現が理解できる。身近で日常の事柄について情報交換できたり、身の回りの状況を簡単な言葉で説明できる。新たに164の漢字の読み書きができる。	20時間	3か月 (10週)	192時間
B 1	B1. 1	何とか生活できるだけの言語能力は持っている。話す相手や場面などに応じて適切な表現を使い分け、誘う、受ける、断る、頼む、理由を述べるなどができる。新たに144の漢字が身についている。	20時間	3か月 (10週)	192時間
B 1	B1. 2	自分の意見や考えを丁寧に表現できる。身近な状況や自分の興味のある分野についてなら、丁寧にわかりやすく説明し、聞き手に理解させることができる。新たに142の漢字が身についている。	20時間	3か月 (10週)	192時間
B 1	B1. 3	普段出会う身近な話題について、主要点を理解できる。自分の経験や夢、目標を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。新たに140の漢字が身についている。	20時間	3か月 (10週)	192時間
B 2	B2. 1	場面に応じて適切なコミュニケーションが流暢にできる。自分とは異なる習慣や環境、考えを知り、さまざまな話題について、明瞭、詳細なテキストを作ることができる。新たに142の漢字が身についている。	20時間	3か月 (10週)	192時間
B 2	B2. 2	無理なく自然に、コミュニケーションを行うことができ、長く、複雑な発話であっても、流暢に話せる。抽象的な話題であっても理解でき、自分の考えを述べるができる。新たに139の漢字が身についている。	20時間	3か月 (10週)	192時間
B 2	B2. 3	複雑でアカデミックな話題でも、主要な内容を理解できる。様々な話題について、明確で詳細なテキストを作ることができ、様々な選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。新たに140の漢字が身についている。	20時間	3か月 (10週)	192時間
			合計	24か月	1536時間